

# 2022 市民みんなの文化祭

とき 11月27日(日) 13:30開演 開場は30分前

ところ ニューメディアプラザ山口 参加費1000円(高校生以下無料)



## 「いのちの道しるべ——種田山頭火の世界」後編

前篇にひきつづき、山頭火が禅宗の僧侶となって放浪の旅に出た後の活躍を描きます。小郡に「其中庵」をむすび、全国の俳人と交わって、いつ、どんな句をつくったのか。やがて日本が戦争に突入する中で、日本人として、詩人として、どれほど

深く苦悩し、なぜ時代の圧迫に屈せず、不朽の戦争否定の俳句を詠うことが出来たのか。

かつて近代文明の信奉者であった山頭火は、関東大震災に遭遇して文明社会に絶望し、命の尊さに目覚めました。彼にとつて戦争とは、肥大化した文明の妖怪にほかなりませんでした。



## 出演団体

アルバレロ・デ・ウベ

ハモールカ (ハーモニカ演奏)

平尾節幸 (中南米音楽)

Ototumugi サクソフォン・カルテット、  
花柳流「むつみ会」

明日を紡ぐ大地の会

以上6団体が出演

各団体の曲目、演目の内容は裏面をご覧ください。

出演団体と曲（演）目のご紹介

- ☆ アルバレロ・デ・ウベ  
初参加です。よろしくお願いします。  
「ひまわり」「神田川」ほか  
2曲を演奏します。
- ☆ ハモールカ 今回初めてクラシックの名曲に挑みます。  
ビバルディ『四季』より「春」、「サウンド・オブ・サイレンス」ほか
- ☆ 平尾 節幸（中南米音楽・ケーナ演奏）観客の強い励ましに感謝！  
「灰色の瞳」（アルゼンチン）、「コージャ族のクエカ」（ペルー）ほか。
- ☆ Ototumugi サクソフォン・カルテット 人びとの心に響く音楽を！  
「星に願いを」「幻想曲」「道」の3曲を演奏します。
- ☆ 花柳流「むつみ会」 花柳文都姫 共同発表会10周年おめでとう！  
市民文化発表会10周年にふさわしいステージをぶち上げます！乞うご期待。
- ☆ 明日を紡ぐ大地の会 戦争のさなか国境を越えていのちの灯を掲げた詩人！  
『いのちの道しるべ—種田山頭火の世界』後編を上演します。お楽しみに



前売券発売所

山口市民会館事務所  
赤レンガ  
山口情報芸術センター  
井筒屋

主 催 明日を紡ぐ大地の会  
助 成 山口県きらめき財団  
後 援 山口県教育委員会 山口市 山口市教育委員会 山口商工会議所  
読売新聞西部本社 朝日新聞社 山口新聞社 中国新聞防長本社  
毎日新聞社 サンデー山口 山口ケーブルビジョン株式会社  
KRY山口放送 t y s テレビ山口 y a b 山口朝日放送  
山口県平和運動フォーラム

主催者連絡先 083・921・2476（福島）

激動の時代 俳句の真髄を追求した民衆詩人

朗読劇 「いのちの道しるべ—種田山頭火の世界」

種田山頭火は明治一五年防府市に生まれました。生まれた家は「大種田」と呼ばれた大地主でした。しかし小学校三年生の時、母親が井戸に身を投げて自殺するという悲劇に出会います。それでも元気に育ち、山口中学から早稲田大学の第一期生となり、将来は文学者になる夢を膨らませていたのですが、世界大恐慌の煽りを受けて家が破産、苦難の人生が始まります。一家離散や肉親の相次ぐ不幸、そして関東大震災との遭遇など、想像を絶する酸苦をなめ、近代文明の空しさと命の尊さに目覚めた山頭火は、禅宗の僧侶となり、全国各地を行乞・放浪しながら、自己凝視をふかめ、大自然のふとこころで息づく生命の美しさを謳った俳句を作りつづけたのでした。山頭火が山口に住み始めた頃、日本は戦時色におおわれていきました。

「天われを殺さずして／詩をつくらしむ  
／われ生きて詩を作らむ／われみずから  
の／まことなる詩を」

★しぐれつつしずかにも六百五十柱  
★街はおまつりお骨となつて帰られたか  
★足は手は支那に残してふたたび日本に  
山頭火の俳句は心ある日本人にとって、  
命を守る道しるべとなったのでした。

